

2012年度研究部会活動記録

部会主任名	福田 耕治（EU・欧州統合研究部会）	現代政治経済研究所
研究課題： 「欧州債務危機以後のEU統合」を共通の研究課題とし、グローバル化、経済、金融、財政危機の結果として、経済格差が拡大し、失業問題、年金制度の破綻、貧困と社会保障の崩壊が社会問題化し、環境の変化が人間の安全を脅かしつつある。成長戦略が優先される結果として、環境破壊が深刻化し、気候変動の影響から災害や事故も大規模し、エネルギー資源の争奪をめぐる国際紛争や人道的危機など多くの錯綜する問題を研究した。EUIJ早稲田の活動と科研費共同研究の研究課題と連携して研究活動を進めた。		
月/日	活 動 記 録	
1/30	国際シンポジウム（大隈タワー：多目的ホール） 「東アジア共同体の潜在力～危機の中で日本とEU が果たす役割」 鳩山由紀夫（衆議院議員・元内閣総理大臣、日EU 友好議連会長） Viorel Isticioaia-Budura（欧州対外行動庁【EEAS】アジア総局長、元ルーマニア大使【中国・韓国】、元在日ルーマニア公使参事官【日本】）、他	
2/23	早稲田本庄高等学院 講演「EU政治経済統合のガバナンスと国際公共政策」 講師 福田耕治（EUIJ 早稲田代表、政治経済学術院）	
4/11	EUIJ早稲田 国会議員との会合 参加者：大谷信盛（衆議院議員・日EU 友好議連、元環境大臣政務官） 江端貴子（衆議院議員・日EU 友好議連）	
4/18	EUIJ早稲田 EU 代表部「死刑廃止に向けて：欧州の経験とアジアの見解」 ハンス・ディートマール・シュヴァイスグート（駐日欧州連合大使） 平岡秀夫（衆議院議員、元法務大臣） ソソルマー・チュルンバートル（人権・市民参加に関するモンゴル大統領アドバイザー）、他	
4/24	EUIJ早稲田衆議院議員会館 講師 ブリウ・モンフォール（駐日フランス大使館財務参事官）	
5/25	「早稲田 日・EUフレンドシップウィーク・シンポジウム」（早稲田大学） 基調講演者 ミランダ・シュラーズ（ベルリン自由大学教授、環境政策研究センター所長） 5.28 衆議院議員会館 講師 ミランダ・シュラーズ（ベルリン自由大学教授、環境政策研究センター所長）	
6/6	オランダ大使館共催講演会「オランダと日本における女性就労の潜在的可能性」 フィリップ・デ・ヘーア（駐日オランダ大使） エスターミリアム セント（ラドバウド大学教授） 林 弘子（福岡大学法学部教授）	
6/13	フランス大使館共催講演会 講師 クリスチャン・マセ（駐日フランス大使）	
7/5	アジア欧州財団、駐日欧州連合代表部「アジアの目に映るEU：日本の事例」 小田野展丈（前駐欧州連合代表部日本大使） マーティン・ホランド（カンタベリー大学教授） アルブレヒト・ロタハー（駐日欧州連合代表部政治経済部公使参事官）、他	
7/10	公開講演会 外務省講師 倉光秀彰（外務省欧州局政策課長）	
7/11	衆議院議員会館 講師 ブリウ・モンフォール（駐日仏大使館財務参事官）	
7/27	国立国会図書館セミナー講演 講師 中村民雄（EUIJ 早稲田運営委員、法学学術院）	
10/5	国会議員との会合 参加者：世耕弘成（参議院議員）、EUIJ 早稲田3人10	

10/10	国際シンポジウム「世界で活躍する日本人アスリートの舞台裏～日本のスポーツ振興とヨーロッパにおける日本人サッカー選手の活躍～」 鈴木 寛（参議院議員・元文部科学副大臣）、平田竹男（スポーツ科学学術院） ルディ・フィロン（駐日欧州連合代表部広報部長）
10/12	国際シンポジウム「日本はなぜ原発を捨てないのか。ドイツはなぜ原発を捨てるのか。」 馬淵澄夫（衆議院議員元国土交通大臣）、坪郷 實（社会科学総合学術院）
10/15	コー円卓会議日本委員会「エネルギー制約の中で問われる企業と市民社会の関係～日欧の連携で世界をリードする～」平塚敦之（経済産業省）坪郷 實（社会科学総合学術院） リチャード・オッペンハイム（英国大使館環境・エネルギー部部長一等書記官） 宇都正哲（株式会社野村総合研究所）
10/17	チェコ大使館共催講演会講師 ヴラジミール・トムシーク（（チェコ国立銀行副総裁）
11/5	EU 代表部講師 ウリ・ヴィエンリッヒ（駐日欧州連合代表部通商部一等書記官）
11/21	国際シンポジウム：「日・EU間の科学技術協力」 中島啓幾（早稲田大学理工学術院）・福田耕治（早稲田大学政経学術院） ハイジ・オッテバエレ（ブリュッセル自由大学教授） アルベルト・メンゴニ博士（イタリア大使館科学部アタッシェ） バーバラ・ローデ（駐日欧州連合代表部科学技術部長） 橋本周司（早稲田大学副総長、理工学術院）
11/27	EU 代表部共催講演会 講師 ギュンター・グロッシェ（元ユーログループ議長特別顧問）
12/11	国際シンポジウム「経済危機と政策レジーム」研究代表者 眞柄秀子部会 開催（早稲田大学）パリ第一大学およびフランス大学研究院のブルーノ・アマーブル教授と、ミラノ大学およびカルロ・アルベルト大学院大学のステファノ・サッキ教授他 科研費基盤研究A 刊行 著書
2012年	福田耕治『国際行政学―国際公益と国際公共政策・新版』 有斐閣 福田耕治「欧州委員会」共著（辰巳浅嗣編）『EU・欧州統合の現在』 創元社 福田耕治共著「（押村高・小久保康之編著）『EU・西欧』 ミネルヴァ書房 中村民雄「EUの規制力と法」共著（遠藤乾・鈴木一人編）『EUの規制力』日本経済評論社 中村民雄・山元一（共編）『ヨーロッパ「憲法」の形成と各国憲法の変化』 信山社 中村民雄「EUのなかのイギリスにおける憲法の主体的なクレオール」（長谷川晃編）『法のクレオール序説―異法融合の秩序学』北海道大学出版会 中村民雄「東アジア共同体と憲章草案」（山本吉宣・羽場久美子・押村高編）『国際政治から読み解く東アジア共同体』ミネルヴァ書房 日野愛郎Airo Hino、New Challenger Parties: A Comparative Analysis ,Routledge 2012年 刊行 査読付き学術誌 論文名 Yasue Fukuda, Koji Fukuda " Fukushima nuclear power plant accident: issues on radiation monitoring and its relation to public health " Journal of Epidemiol Community Health , 2 August 2012 福田耕治「欧州オンブズマン制度とEU行政の適正化―リスボン条約およびEU基本権憲章による改革―」『季刊行政管理研究』 行政管理研究センター、2012年 10月

	中村民雄「第三国政府に連携行動する個人の家族に対するEUの経済制裁措置の効力」『貿易と関税』2012年 11月 中村民雄「EU共通難民規則のEU基本権憲章適合的な解釈」『貿易と関税』2012年 6月 中村民雄「欧州人権条約のイギリスのコモン・ロー憲法原則への影響―「法の支配」の変不変」『早稲田法学』 中村民雄「判例にみるEU市民権の現在―移動市民の権利から居住市民の権利へ?」『日本EU学会年報』 中村民雄「EUの中のイギリス憲法―『国会主権の原則』をめぐる動きと残る重要課題」『早稲田法学』 久保慶一共著「旧ユーゴ研究の最前線」(柴宜弘監修、百瀬亮司編) 溪水社 Keiichi Kubo「Secessionism and Separatism in Europe and Asia: To Have a State of One's Own」Jean-Pierre Cabestan & Aleksandar Pavkovic, eds. Routledge
10/21	学会・シンポジウム 研究報告 日本国際政治学会 2012年度研究大会(名古屋国際会議場) 福田耕治「EUガバナンスの射程―欧州債務危機とEU社会保護ガバナンス」Financial Crisis and Governance of a Social Protection System in the European Union
2013 3/17-18	The 5th International Symposium Turin, Italy: ECONOMIC CRISES AND POLICY REGIMES Hideko Magara "ECONOMIC CRISES AND POLICY REGIMES: The Dynamics of Policy Innovation and Paradigmatic Change"
来年度の 活動計画	「EU統合と人間の安全保障をめぐる諸政策」を中心に研究を進める予定。 EU研究所に所属する各研究部会ごとに、その成果を一般に公開し、図書、論文を刊行。 科研費2つの基盤研究A および複数の基盤C によるEU共同研究 の成果を公表する。 須網隆夫部会「パワー・シフトの進む国際環境における日EU協力の包括的研究」(基盤A) 眞柄秀子部会「経済危機と政策レジーム」(基盤研究A) 他、基盤研究C 複数獲得
終了の場合	研究成果刊行の時期: 2013~2014 年 3 月(予定) 研究成果の公開方法: 日本語および英語による研究図書の刊行 Praegar および Edward Elgar より、EU関連研究書をそれぞれ刊行の予定。